

■ 巻頭言

趣旨、経過、期待

北海道地域観光学会 設立発起人代表 北海商科大学大学院教授 大内 東

趣旨

観光産業研究には対極となる2つの視点が存在する。1つは普遍性を追求する視点であり、情報学の視点からの研究はこの代表である。もう一つは特殊性を追求する視点であり、地域に視点を置く活動はこの典型である。これら2つの対極となる研究を融合させることができれば観光産業研究にイノベーションを起こすことも可能である。

北海道地域観光学会は、北海道地域における観光産業研究に対し、観光情報学と北海道地域観光学の両視点からの研究を実践して、これらを融合し、観光産業学研究方法論と観光産業そのもののイノベーションを目指す。

経過

北海道地域観光学会の設立にあたって、上記のような趣旨を様々な分野の方々へお話しをしました。その結果、多くの方々の賛同を得ることができ、2013年5月11日に設立総会を開催し、初代会長に伊藤昭男氏（北海商科大学教授）を選出し、学会の活動を開始することができるようになりました。いま改めて、賛同をいただいた方々に感謝の意を表します。

期待

さて、学会として不可欠な活動は研究活動を公表する3つの場を設定することです。第1は、学会活動の情報発信の場です。これはFacebookを活用した学会ホームページが立ち上がっています。第2は会員すべてが参加する研究発表会であり、本年7月に2014年度年次総会が開催されます。第3は研究成果を公表する学会誌の発行です。すでに論文募集も終わり、査読も終了して採録論文もWebに掲載されています。学会設立からわずか1年でこの3つの場ができました。伊藤会長をはじめとする役員並びに学会員の皆さんの熱意とご協力の賜物です。本学会が中心的役割を果たし、関連する学会と連携した今後の発展を期待します。

最後に、当学会の活動にご理解を頂き、ご支援を頂いている北海商科大学・開発政策研究所（森本正夫所長）に感謝いたします。